科目ナンバリング								
授業科目名 <英訳>	フランス語II（６Ｈコース） F2301 Intermediate French			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　塩塚　秀一郎			
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	日本語及びフランス語		
旧群	C群	単位数	12単位	週コマ数	3コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）	
開講年度・開講期	2025・通年	曜時限	水5・木5・金5	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向	

[授業の概要・目的]

フランスで出版された視聴覚教材を用いて、聴き取り・会話能力に重点を置いたフランス語を学ぶ。昨年度の「8時間コース」に接続するクラスで、教科書も「8時間コース」のものを引き続き用いる。文法の学習進度はふつうのクラス別コースよりも遅いので、実際のレベル的には初級の終わりくらいに相当する。

[到達目標]

フランス語の文法事項を押さえつつ、学んだことを単なる文法の知識として記憶するのではなく、練習問題などを通して用法として習得し、同時に行なう聴き取り練習により、「話す・聞く」能力を身につける。

[授業計画と内容]

フランス語I の「8時間コース」から接続する科目で、教科書も昨年「8時間コース」で終わった所から始める。後期は同じ教科書の2巻目を用いる。昨年度「8時間コース」を履修した学生は、この「6時間コース」を履修すると、2年間一貫したコースとなり、学習の効果が増す。昨年度「8時間コース」を履修しなかった学生も「6時間コース」を履修することができる。週3回のインテンシヴ・コースであり、部分的な受講はできない。また半期科目ではなく、通年科目である点にも注意すること。

各課ごとに、配布する文法シートで文法事項を学んだ後、教科書のスクリプトに基づく練習問題を教室で行なう。引き続き、各課ごとに用意された発音・聞き取り練習を、LL教室の設備を用いて行なう。この聞き取り練習の音声ファイルはネット上に置いてあり、各自ダウンロードして復習することができる。また各課ごとに作成した練習問題のプリントを配布し、宿題として提出してもらう。以上の過程が終了した時点で、その課で学んだことについてテストを行なう。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

各課ごとに行なうテストの点数を集計して判定する。平常点による評価であり、期末試験は行なわない。

[教科書]

M. Kaneman-Pougatch et al. 『Café Crème 1』（Hachette）ISBN:978-2011550163
京都大学フランス語教室編 『『新初等フランス語教本　文法編』』（白水社）ISBN:4-560-00966-X

フランス語II（６Ｈコース）F2301(2)へ続く↓↓↓

フランス語II（６Ｈコース） F2301(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

その日に学習する教科書の部分の単語を事前に辞書を引いて調べておくこと。また聞き取り問題の音声ファイルはネット上に公開されているので、教室で学んだ後に各自ダウンロードして自宅でも学習することが望ましい。宿題の練習問題は必ず提出すること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]